

WHAT

現代アートコレクターズミュージアム

INSIDE THE COLLECTOR'S VAULT VOL.1

2020/12/12 土
-2021/5/30 日

解き放たれたコレクション展

会場 WHAT 1階、2階 東京都品川区東品川 2-6-10

開館時間 火—日 11時—19時 最終入館 18時

月曜休館 祝日の場合、翌火曜休館

主催・企画 寺田倉庫株式会社

INSIDE THE COLLECTOR'S VAULT VOL.1

解き放たれたコレクション展

珠玉のコレクション作品 約70点を一挙に公開。
2名のコレクターの視点を通じて、
現代アートの魅力に迫る。

現代アートは美術館をはじめ、商業施設や病院、駅といった公共施設でも見受けられます。また、IT技術の進歩に伴いオンライン上での鑑賞機会も増え、私たちの生活に身近な存在になっています。当館が開催する第1回の展覧会となる本展では、2名のコレクターの約70点に亘るコレクションに焦点を当てます。高橋龍太郎コレクションは「描き初め」をテーマに、A氏コレクションは2000年前後の奈良美智作品を中心に紹介します。展示作品には、新作や初展示となる作品も含まれます。また、作品の魅力やコレクションしたきっかけをコレクター自身の言葉でお伝えします。

高橋龍太郎コレクション

- [作品点数] 約30点
- [出展作家] 18作家 (予定) (敬称略、五十音順)
会田誠、今津景、梅沢和木、大山エンリコイサム、岡崎乾二郎、川内理香子、草間彌生、合田佐和子、近藤亜樹、鈴木ヒラク、佃弘樹、土取郁香、DIEGO、野澤聖、BIEN、水戸部七絵、村山悟郎、毛利悠子

高橋龍太郎

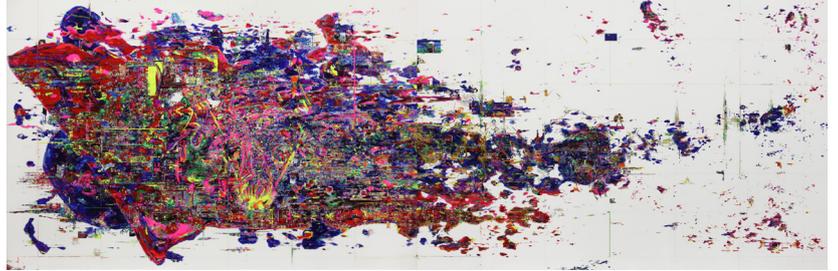
精神科医、現代アートコレクター。1946年山形県に生まれ、小学校から高校卒業までを名古屋で過ごす。東邦大学医学部を卒業後、慶應義塾大学精神神経科入局。国際協力事業団の医療専門家としてのペルー派遣などを経て、1990年東京・蒲田にタカハシクリニックを開設、院長となる。1997年より本格的に現代美術のコレクションを開始し、所蔵作品は現在2000以上に及ぶ。これまでに国内外21館の美術館等で高橋コレクション展が開催された。代表的なものに、2015年「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」(東京オペラシティアートギャラリー)、2015-2016年「Cosmos/Intime- Collection Takahashi〜内なる宇宙-高橋コレクション展」(パリ日本文化会館)等がある。著書「現代美術コレクター」(講談社現代新書)他多数。



大山エンリコイサム、
“FFIGURATI #162”, 2017
© Enrico Isamu Oyama
Photo by Shu Nakagawa



会田誠, “ちび(「ランチボックス・ペインティング」シリーズ)”, 2016
©AIDA Makoto Courtesy of Mizuma Art Gallery
Photo by 宮島径



梅沢和木, “ジェノサイドの筆跡”, 2009
Courtesy of CASHI

A氏コレクション

- [作品点数] 約40点 (会期中に作品入れ替え実施予定)
- [出展作家] 奈良美智

A氏

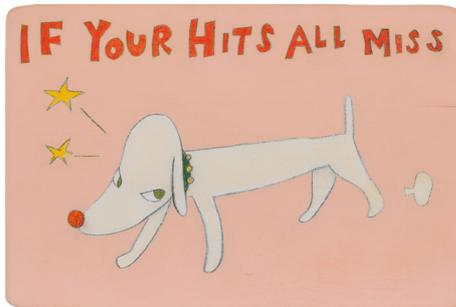
日本の実業家、投資家。1969年生まれ千葉県出身。大学卒業後、投資会社に就職しベンチャー企業への投資・育成業務を担当。その後複数の企業を上場させ、現在も上場企業の代表を務める傍ら、様々なベンチャー企業のエンジェル投資家としても活躍。2001年に奈良美智の作品に美術館で鑑賞したことをきっかけに、コレクションをスタート。奈良美智作品を中心にコレクションとしながらも、現代アートにこだわらずコレクションを続けている。



“I’m Swaying in the Air”, 1995
©Yoshitomo Nara
Photo by Keizo KIOKU



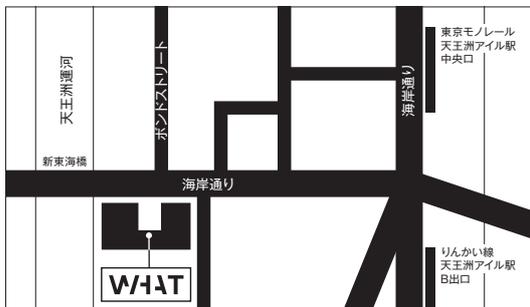
“悟空”, 1987
©Yoshitomo Nara
Photo by Keizo KIOKU



“If Your Hits All Miss”, 2000
©Yoshitomo Nara
Photo by Keizo KIOKU



“Slash with a Knife”, 1998
©Yoshitomo Nara
Photo by Keizo KIOKU



WHAT
東京都品川区東品2-6-10
東京モノレール 天王洲アイル駅 中央口
Aイル駅より徒歩5分
東京臨海高速鉄道りんかい線 天王洲アイル駅 B出口より徒歩4分

- [主催] 寺田倉庫株式会社
- [協力] 高橋龍太郎コレクション、A氏
- [企画] 寺田倉庫株式会社
- [会期] 2020年12月12日(日)〜2021年5月30日(日)
- [会場] WHAT 1階、2階 (東京都品川区東品川 2-6-10)
- [開館時間] 日一 11:00-19:00 *最終入館 18:00 *月曜祝の場合、翌火曜休館
- [入館料] 一般1,200円、大学生/専門学校生700円、中高生500円、小学生以下無料
*同時開催「語る建築」展の入館料を含む
建築模型倉庫見学 (オプション) 500円
- [同時開催] 建築倉庫「語る建築」展

WHAT

文化庁

